

牛久第二小学校区タウンミーティング議事録

開催日：平成 30 年 7 月 10 日（火）13 時 30 分～

場 所：本庁舎第 3 会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び区側出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
 - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
 - ②風水害や土砂災害に備えて一自らの命、家族の命を守るために一
 - ③市民満足度調査結果
 - ④ブロック塀の安全点検

田宮：市政情報の説明をいただいたが、30分もこの説明にかかっている。お話の内容は、我々ではなく、市の外向きのように感じる。我々は、地元の行政で泥臭いことをやっているの、本来であればそれに関連したことをやっていただければと思う。風水害のお話も身近な問題なので、我々も考えなければならない。過去の冠水情報、土砂崩れ情報をもう少しいただければ、区民にたいして注意喚起ができるため、そのようなものが欲しい。満足度の問題ですが、アンケートは難しい。非常に便利のいい都市部の人にアンケートをすれば、8～9割の方は満足となるが、地方のへんぴの所に住んでいる人には、不満が出てくるのではないかと思う。ブロック塀の安全点検についてですが、今回の調査で建築基準に違反している場所があったのか。

建設部長：建築基準法に基づく、違法なブロック塀は、公共施設においては無かった。ただし、ぐらつきがあったものは解体した。

4 行政区の意見等話し合い

本町：2番目の国道6号から刈谷に向かう道路の排水用スノコについては、来年度できるのか。

建設部長：交付金を活用するには、実施年度の前年度に要望している。その結果、交付金がつけば事業を実施したいと考えている。必ず来年できるという約束はできないが、実施する方向で検討している。

本町：3番目の、国道6号線の横断歩道の設置の要望を、警察署に提出していただいたということで、警察の方で検討してオーケーであればということですね。

市民部長：警察署に要望を出しており、警察署で検討して、公安委員会にあげるということになっている。

本町：以前、市民活動課の方から連絡をいただいて、調査をするために、本町区民会館の駐車場を貸してほしいとの話があったが、まだこないようなので、その動きはまだないようですね。

交通防災課長：行く時には、連絡をしていくということで、警察から連絡をいただいている。

田宮：今回は、二小学区の地区社協としての要望として出させてもらった。事前に6行政区の区長さんと相談させていただく機会があり、個別の案件については各担当課と話せばよいので、タウンミーティングでは、共通の話題となるような大きな枠組みの話を見せていただいたほうがいいだろうということで、二小学区の要望として3件出させていただいた。

3番目の23号線の外灯の件は、要望を出してからすぐについたため、ありがとうございます。なんでもっと早く点かなかったのだろうとは思った。

1番目の地区社協事務所前の道路について、位置づけは農道であると思うが、非常に狭く、車1台が通るのがやっとである。この道路が生活道路ではなく、抜け道になっている。地区社協事務所では、子育てサロン等を行っているが、3歳・4歳の子どもがぱっと外にでていってしまうこともあり、非常に危ない。今回の回答を見ると、あなた任せで、警察の許可がないから、というような回答ですが、もうちょっと市の方からプッシュしていただいて、事故が起こる前に何かやってほしい。こちらとしては、のぼり旗を立てることも検討している。そうすればスピードを落とすのではないかと思う。朝夕は、中学生もあの道を通るため、急遽交通の見守りもお願いしている。ぶつかりそうになったこともある。これは、牛久警察署の管轄となるのか、場合によっては県警に出向いてもよいと思っている。

市民部長：警察には話をして、今回のような回答をいただいているが、看板の設置や、速度減速の看板などの方法もあるので、そちらを検討していきたい。

田宮：是非とも一方通行にしてもらいたい。近辺の方には了承をいただいている。

市長：自分も通るが、非常に狭い道である。この解決法としては、一方通行がベストだと思うが、地権者の同意が必要ではある。警察に対しても要望ではなく、提案をしていく。地元の同意も得ているとうことはお話をすれば、警察も動かざるを得ないのではないかと考えている。そのようなやり方でやっていきたい。

田宮：下りの一方通行でよいという地域の住民の了承は得ている。以前も、警察に対して別の道路について近隣住民の同意書を集めて、朝の通学時間の1時間だけの一方通行を警察に要望したが、ここを通るかもしれない人の同意がないということで却下された。警察に苦情が来た場合は対応のしようがないということであった。今回の道路も同じなのではないかと思っている。市の方からも現場を見ていただいて、警察の方にプッシュしていただき、警察に再度検討していただけるように努力してほしい。

2番目の意見については、図面をひいて建設とお話をさせていただければと思う。どんなかたちになるのか、いつ頃完成予定なのか、信号の設置についてなど、通学路の変更や、見守り隊の変更も必要になるかもしれないので、考えていかないといけない。

建設部長：23号線の整備状況について、残りが350メートルとなっている。用地の取得状況については、全体で87%契約し用地を取得している。家屋補償は洋チャン食堂の南側5件ほど契約ができていない。今年度については、用地補償を2件予定しており、残りの3件は順次実施したい。開通の見通しとしては、平成33年度開通を目指している。交差点の信号機については、現在丁字路となっている交差点が十字路となり、横断歩道が4か所と信号が設置される予定。これにより、優先道路としては、23号線が優先と変わっていく。薬師寺の裏側も十字路交差となり23号線が優先となる。押ボタン式の信号の設置を予定している。このように信号設置については県警と協議をしている。

田宮：洋チャン食堂の丁字路の交差点について、仮設の信号はつかないのか。3年後に信号が付くのであれば、それを前倒ししてつけることができないか。既に物損事故が2件おきている。青果市場側からきて停止線で止まった場合、ミラーがあっても左右が全然見えない。

建設部長：完成での信号機の設置は協議しているところである。現状での信号の設置が難しい状況であるため、完成後の信号の設置というのが、今の現実的な話ではないかと思う。現地は確認させていただいて、カーブミラーの調整など、現状できるものは対応させていただく。

第2つつじが丘：敬老の日大会について、今年の3月に第2つつじが丘の全戸に対してアンケート調査をしたが、2018年度、2019年度は、なんとか今まで通りできるが、高齢化率が50パーセントを超えており、班長の半数が招待者となっている。毎年対象者が40人ぐらいい増えていき、再来年ぐらいになるとできなくなるのではないかと思う。75歳になられた方と77、79、81歳と奇数の方、といった年齢の制限をしてやらざるをえないのかなと考えている。市の方には、対象者一人に対しての補助金をいただいているが、このような制限をしてもよいのかお伺いしたい。

保健福祉部長：敬老の日大会のあり方について、会場が足りなくなってしまう恐れがあるというのが、事業実施後のアンケートで意見として寄せられており、市としては、会場の問題を今後どうしていくかという課題がある。近隣に市の大きな施設があれば利用していただいているが、今の場所のままがよいという意見もあり、地域性が大きくでくる事業である。市としては補助金としてお願いしているものについては、対象を決めているので、1歳刻みでというやり方はやらないでいただきたい。やり方は毎回工夫して頂いており、昨年は現金のお祝い金を、振込に変更させていただいた。しかし、逆にこれではうちの行政区は困る、現金でそのままお祝いしたいといった意見も受けた。今年は、地域によって現金か振込かを行政区ごとに希望できるようにした。このように地域性が非常にある事業であるので、それぞれご意見を賜りながら、より良い方向にしていきたい。

第2 つつじが丘：今年9月の敬老の日大会が終わった後に、来年度どのようにするかを検討するので、そのときに保健福祉部に相談させていただく。

田宮：敬老の日大会について他の区長さんと意見交換をしたところ、敬老の日にかかる費用がこんなにかけていいのか、という意見は多い。近隣の市町村に聞いたところ、牛久が一番待遇良いのではないかと思う。学校区単位で体育館での開催にしたらいいのではないかという話をしたところ、それぞれの行政区のカラーが出なくなるという話もあれば、まとめてやった方がよいという意見がある。なかなかまとまらないが、どんどん対象者が増えている中で、中身については、もう少し見直しをしても良いのではないかと思う。お金をかけないで、皆さんに喜んで頂けるような中身の検討をしてもよい。対象者は毎年増えるが、参加者は毎年同じである。そのような現実を踏まえて、中身は検討していただいても良いと思う。

市長：敬老会においても、色々な世代を取り込んでやるというのも一つの目的なのかと思う。補助金のやり方、敬老会のやり方について、考えなければいけない時代なのかと思う。

エスカード：1つ目に、エスカードビルの空き店舗スペースの活用方法について、引き続き商業施設として活用するのか、公共施設にコンバージョンして活用するのか、市としての考えをお伺いしたところ、商業施設として継続するとの考えであった。しかし、回答の中に、牛久駅周辺における都市機能の活性化とあるが、商業施設として維持するとなると、活性化と矛盾するように感じる。牛久駅周辺の都市機能の活性化とは具体的に何をさしているのか教えて頂きたい。

2つ目に、牛久駅西口の活性化について、西口が牛久駅の顔だという意識を持っている方も多数いるが、東口に比べると西口の勢いなくなっている印象をうける。そこをどうするかと質問をしたところ、回答としては、医療・福祉・子育て・商業、行政等のサービス施設を誘導するとあるが、ここに行政サービスをもし西口に持ってくるのであれば、エスカードにある市役所の機能を拡充するのも一つの案なのではないかと思う。ここでいう、行政サービス施設の誘導というのは、具体的にどのようなものか。また、医療であれば医療モールをエスカードビル内に作るつもりがあるのかということをお聞かせいただきたい。

3つ目に、城中田宮線開通後は、交通量が減ることが予測されるが、これに関する対策をどうするかということですが、回答では、交通渋滞がなくなるので、逆に車が乗り入れやすくなるとのことで、現象的には優位に働くとのことであったが、一般的にマーケティングでは、交通量を予測して、売り上げを予測するのが一般的であり、逆の回答となっており、斬新な回答であった。バイパスができ、交通量が減って売り上げが上がるというのは聞いたことがない。具体的な事例などがあればお聞かせいただきたい。

市長：エスカードビルについて、所有者と売買の話がついていないという事が一番のネック

であり、なかなか具体的な話ができないという状況である。早くに売り買いの交渉をするのが先決だと思う。

建設部長：2番目の西口の活性化に関わる質問の中での、どのような行政サービスを持ってくるとかという事についてですが、牛久駅を中心とするエリアには将来的に医療・福祉・子育て・商業・行政等のサービスを集約していこうと考えている。人口減少に伴って、市街地の中も人口が減っていき、行政サービスがなかなか立ち入らなくなっていく。そのため、なるだけ駅の周辺にこのような施設を集約していこうと考えている。各施設と駅と居住地区を公共交通で結んでいこうというのが、今、市の方で将来の計画として考えていることである。いわゆる立地適正化計画といわれるものであり、将来に向けた準備ということで考えている計画である。

環境経済部長：3つ目の質問について、実際に策が無いのかという事があると思うが、商工業的にお話しをさせていただくと、お店はネット販売、郊外の大型店等の利用により、市内商店を取り巻く環境は大きく変わってきている。個人商店はかなり厳しい状況に置かれているというのが現状です。国道沿いに限らず、多くの人に車から降りてきてもらえる魅力づくりを進めてる。ただの通過点ではなく、目的地になるようようにと考えている。その中でも市内の各店舗がより魅力的なるようにと、牛久市商工会と連携しながら様々な取り組みをおこなっているところである。事例として、昨年度からまちゼミという事業を新たにはじめた。街のにぎわいを取り戻す活性化事業であり、内容としては、各店舗の方が講師となり、プロならではの専門的な知識・情報を無料でお伝えするという少人数制のゼミ。お店とお客さんとのコミュニケーションの距離を近くして信頼関係を築くという事を目的として行ったが、初年度としては成功をおさめたところである。商工会と連携をしながら、このような事業を進めていきたい。

エスカード：色々な事例を参考にさせていただいて、活性化を図っていただきたい。

市長：エスカードビルについて、今まで物販等が入っていたが、物販は非常に厳しいので、違う視野として、オフィスビルや専門的な小規模なものなども考えられるが、牛久にない公共施設、あそこにあることで色々な人が集まる公共施設があってもよいと思う。区長の皆様にとっても、私にとっても身近な場所でありますので、何かありましたら意見をいただきたい。

田宮区長：現在の執行状況を聞きたいのだが、平成29年度の1回目のタウンミーティングで、私の方から意見をだした、道路の白線が消えてしまっている件、道路の所管が大分違うため、牛久だけで処理するのは難しいとは思いますが、未だに、こまつやさん、かつやさんの辺りは、ほとんど白線がみえない状況である。せめて、子どもたちの通学路だけでも道路の標識をお願いしたい。現在の進捗状況、今後の見通しについて教えていただきたい。

市民部長：駅の入口と、かつやさんの交差点について、警察に重点区域として要望を出しているが、なかなか実現できないのが現状である。今年度も年度当初に警察の方に要望をしている。交通安全母の会からも、PTA を通じて要望を把握して、母の会からも公安の方に要望を出している。警察の方に強く要望し、なるべく早く実現できるようにしていく。

第2つつじが丘：かつやさんの交差点について、今年初めのタウンミーティングで、矢印信号ではなく、時差式の信号はいかがかという話をさせていただいたが、これについてはどうか。

市民部長：その件についてもご要望をいただいて、警察と協議をさせていただいた。警察では地域制御をしており、1つの信号だけを制御しているのではなく、交通量に応じて、6号や市道等全体を制御している。その1点だけをいじると、他に影響をしてしまうため、難しいという見解であった。ご理解いただきたい。

田宮：最後に提案ですが、タウンミーティングを年2回やっているが、だんだんと話題が少なくなっている。これを年1回にして、1回の開催時間を若干長くしていただいて、市の計画、質疑応答の時間を長くして、年1回でよいのではないかと思う。これは2小地区社協6行政区の意見として聞いていただいてよい。

市長：タウンミーティングの目的としては、市の考え、事業を区の皆さんにいち早くお伝えし理解をしていただくということであるが、年2回も必要はないのではないかとも思う。また、色々な地区から色々な話を聞きたいということで、区長さんから話を聞いているが、その他にも、違う立場の方からの話も聞きたいと思う。来年はまた違うジャンルの方の話を聞くのもよいのではないかと思う。色々話を聞きながら進めていきたいと思う。

15時15分閉会